

# しゃきょう おおいそ

しやきょう  
社協とは社会福祉協議会の略です



The logo consists of a blue circle containing the lowercase letters "de".

 社会福祉  
法 人 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003

大磯町大磯1352番地の1

## 大磯町立福祉センターさざれ石内

電 話 0463-61-9390

FAX 0463-61-7614  
URL <http://www.siso.schule>

URL <http://www.oiso-shakyo.jp/>



国府新宿地域福祉推進委員会の活動紹介

地区に住む高齢者を対象に、老人福祉センター「さざんか荘」で敬老昼食会を開催し、昼食会を通じてふれあいと交流の機会を深めています。

写真は、10月11日に行われた懇親会の様子です。参加者の方々は昼食や体操、催し物を楽しんでいました。

日頃より、社会福祉協議会のさまざまな事業に、多くの皆様のご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年は、社会福祉大会が第三十回を迎えた記念の年でした。社協三十年の歩みの寸劇、アトラクション等、皆様のご協力により、多くの人の参加をいただき、盛会に開催することができました。また、神奈川県福祉作文コンクール小学生の部で二名が「優秀賞」と「準優秀賞」に輝きました。

大磯町社協では「ふれ愛・ささえ愛・くらし愛」をもつとうに、介護保険事業、まんてん運営事業、受託事業等を推進しています。今後も地域の皆様と共に歩んでいきたいと考えています。

本年も、職員一同一層の努力をしてまいります。皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、地域の皆様のご多幸、ご健勝と更なるご活躍とともに、今年も良き年でありますようお祈りいたします。



大磯町社会福祉協議会

## 「第30回大磯町社会福祉大会」が開催されました

大磯町社会福祉協議会は、10月26日(土)、第30回大磯町社会福祉大会を開催しました。式典では福祉功労者の表彰や大磯町福祉作文コンクールの受賞者の表彰が行われました。また、当日のプログラムについては、実行委員の検討のもとすすめてまいりました。今年は晴天に恵まれ、沢山の方にお越しいただき大変にぎやかな大会となりました。ご来場ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

### 福祉作文コンクール入選者の表彰

#### 小学校の部

敬称略 順不同

- 大磯町社会福祉協議会長賞  
『耳の不自由な人が安心出来る社会へ』  
大磯小学校5年 萩村 明希穂
- 神奈川県共同募金会 大磯町支会長賞  
『助けあい』  
国府小学校6年 二見 清香
- 佳 作  
『福祉ボランティア体験』  
国府小学校6年 関野 花江
- 佳 作  
『わたしのおねえちゃん』  
国府小学校1年 小島 秋月

#### 中学校の部

- 大磯町社会福祉協議会長賞  
『「福祉」の可能性』  
大磯中学校3年 小倉 美乃
- 神奈川県共同募金会 大磯町支会長賞  
『心のバリアフリー』  
大磯中学校3年 住本 大樹
- 佳 作  
『手話』  
大磯中学校3年 鶴岡 羽南
- 佳 作  
『福祉とは幸せ』  
大磯中学校3年 伊田 結奈



● 町内の小中学生43名が応募。8名が入選に輝きました。

### 福祉活動功労者表彰

#### 大磯町社会福祉大会



● 今年は、15名の表彰をいたしました。

### < 表 彰 >

敬称略 順不同

- 永年にわたり社会福祉活動の発展に寄与されました。  
曾根 伸子・永瀬 謙一・志澤 敦  
吉川 京男・峠 シマ子・松下 正代  
曾根田 裕子・永樂 和子
- 永年にわたりボランティア活動を通じ社会福祉の発展に寄与されました。  
近藤 仰巨・近藤 登志子・関 宣子
- 地域センターまんてんの発展に寄与されました。  
鈴木 孝善・波多野 浩二・富山 昇  
河口 邦山



## 「第30回大磯町社会福祉大会」のようす



アトラクションにて  
落語、大磯小学校合唱団、ドルフィン&ブルーエコー（シニア合唱団）、  
ハーラウ・フラ・カウ・カ・マカ（フラダンス）、素敵なお歌や踊りありがとうございました。



屋外会場では出店・展示を行い、  
沢山の皆さんにおいでいただきました。  
ありがとうございます。



### 令和元年度 神奈川県福祉作文コンクールで2篇が入選しました！

本年度は神奈川県内の小・中学校あわせて282校8,861篇の作品の中から、

**荻 村 明希穂さん(大磯小)の「耳の不自由な人が安心出来る社会へ」が優秀賞  
二 見 清 香さん(国府小)の「助け合い」が準優秀賞**

を受賞されました。おめでとうございます！

## 福祉作文コンクール

## 作品紹介

**耳の不自由な人が安心出来る社会へ**

歌とダンスに手話を取り入れて活動しているグループがある。私はそのグループのパフォーマンスを見てすごいと思った。歌やダンスは、音楽に合わせて歌ったりおどたりするけれど、その音楽を聞くためには耳が必要だ。しかし、耳が不自由な人には、音楽や歌っている人の声が聞こえにくく、楽しさが伝わりづらくなってしまう。けれど歌とダンスに手話を取り入れると、耳が不自由な人にも歌詞が分かると思うし、リズムも手びょう子などで表せば伝わると思う。

そのグループのライブには、耳の聞こえる人だけではなく、耳の不自由な人もたくさん来ていた。その人達の中には、何曲も手話で一緒に歌つていい人もいて、すごいと思つた。



大磯小学校 五年  
荻村 明希穂

耳の不自由な人が安心出来る社会へ

そして、歌詞の中に「笑顔」や「喜ぶ」などの言葉があると、ニコニコした表情で、「くやしい」や「なみだ」などの言葉がある時は、悲しそうな表情をして手話をしていた。私はそのグループの曲は一曲しか手話を出来ないけれど、手話を集中してしまって表情までは気にしていなかつた。手話は耳の不自由な人にとつて、とても大切だけれど、表情も大切なandanと気付いた。

私のように、手話が身近にない人はたくさんいると思う。手話はむずかしいと思う人も多いと思う。私も最初はそう思つていたけれど、そのグループを見て、手話の勉強をしてみると、とても楽しく感じた。

耳の不自由な人は、大変なことも多いと思う。手話をすることを一人でも多く理解して、興味を持つてくれたら、耳の不自由な人が、安心出来る社会になるとと思う。

私は、まだ簡単な単語くらいしか出来ないけれど、もつと手話を勉強して、いつか耳の不自由な人がこまつていたら、その手話を使って助けてあげたい。



国府小学校 六年  
二見 清香

私の祖父は、私が小学二年の冬に脳出血でおれてしまいました。祖父は私が一才のころから、毎日保育園にむかえにきてくれて、両親が仕事から帰るまで一緒に遊んでくれたり、お世話をしてくれました。私が小学生になつてからも下校後、毎日祖父の家でお世話をなり、祖父は私や私の弟、妹をとてもかわいがつてくれていました。

祖父はたおれてから、右半身が動かなくなり、話すことや口からご飯を食べることもできなくなりました。約半年間リハビリのために入院していましたが、体は動かないまででした。退院後、祖父は自分では何もできなければ、祖父は一年半前になくなりましたが、祖父は多くの人の支えがあつてたおれた後も家で家族と一緒に生活できました。私も多くの人に助けられています。周りの人々が困っている時、私はいろんな人と協力して助けあいました。



## 助け合い

たりしました。

私はいろいろ祖父にお世話をもらつていたので、今度は私が恩返しをする番だと思ってやつていました。祖父は祖父を大切に想つているからこそ、毎日祖父のお世話をできたのだと思いました。



大磯小学校 五年  
荻村 明希穂

耳の不自由な人が安心出来る社会へ

「喜ぶ」などの言葉があると、ニコニコした表情で、「くやしい」や「なみだ」などの言葉がある時は、悲しそうな表情をして手話をしていた。私はそのグループの曲は一曲しか手話を出来ないけれど、手話を集中してしまって表情までは気にしていなかつた。手話は耳の不自由な人にとつて、とても大切だけれど、表情も大切なandanと気付いた。

私のように、手話が身近にない人はたくさんいると思う。手話はむずかしいと思う人も多いと思う。私も最初はそう思つていたけれど、そのグループを見て、手話の勉強をしてみると、とても楽しく感じた。

耳の不自由な人は、大変なことも多いと思う。手話をすることを一人でも多く理解して、興味を持つてくれたら、耳の不自由な人が、安心出来る社会になるとと思う。

私は、まだ簡単な単語くらいしか出来ないけれど、もつと手話を勉強して、いつか耳の不自由な人がこまつていたら、その手話を使って助けてあげたい。

私の祖父は、私が小学二年の冬に脳出血でおれてしまいました。祖父は私が一才のころから、毎日保育園にむかえにきてくれて、両親が仕事から帰るまで一緒に遊んでくれたり、お世話をしてくれました。私が小学生になつてからも下校後、毎日祖父の家でお世話をなり、祖父は私や私の弟、妹をとてもかわいがつてくれていました。

祖父はたおれてから、右半身が動かなくなり、話すことや口からご飯を食べることもできなくなりました。約半年間リハビリのために入院していましたが、体は動かないまででした。退院後、祖父は自分では何もできなければ、祖父は一年半前になくなりましたが、祖父は多くの人の支えがあつてたおれた後も家で家族と一緒に生活できました。私も多くの人に助けられています。周りの人々が困っている時、私はいろんな人と協力して助けあいました。

## 災害ボランティア

### 「未来への教訓～東日本大震災を伝える～」

#### 防災講演会

11月16日、福祉センターさざれ石において、大磯町社会福祉協議会と大磯町災害救援ボランティアの会主催で、石巻日日新聞社の平井美智子氏を招き講演会を開催しました。



被災後、ライフラインが停止し新聞の製作も出来なくなりました。その中で新聞社は「被災した方々に情報を届けたい」という理由から手書きで壁新聞の発刊開始し6日間という短い期間ではあったが、壁新聞を通して被災者に希望を与えていました。現在は、被災地で暮らす人、災害に直面する世界中の、また将来の人たちに石巻から発信し伝えていくと語られていました。

## 大磯町老人クラブ連合会婦人部

12月5日、世代交流センターさざんか荘にて老人クラブ連合会婦人部の集まりがあり、地域センターまんてんからお弁当をお届けしました。

老人クラブ連合会では、高齢者が仲間づくりを基本に、生きがいを持って安心して生活できる環境づくりや、健康づくり、地域づくりの活動を行なっています。



## ボランティア交流会

11月29日、「ボランティア交流会」を開催しました。各ボランティア団体から多くの皆さまが参加され、「武藏野御陵」「石川酒造」「深大寺」「ちひろ美術館」を見学しました。晴天にも恵まれ、皆さん交流を深めながら一日を楽しみました。



皆様からの心温まる善意、ありがとうございました。

- 合計 8 件
- 匿名（紙パンツ一式）
- 匿名（タオル他一式）
- 匿名（ズボン）
- 匿名（タオル他一式）
- 匿名（紙パンツ一式）
- 匿名（紙パンツ一式）

【寄付物品】  
合計 7 件  
総額 156,473 円

- 大磯教会
- えぶうんの会
- 匿名
- 匿名
- 匿名
- 大磯町老人クラブ連合会婦人部
- ドルフィン＆ブルーエコー

### 【寄付金】

令和元年年9月17日から令和元年12月17日までに次の方々から大磯町社会協議会にご寄付をいただきました。福祉活動のために大切に使わせていただきます。

(敬称略・順不同)



## 大磯学童保育 指導員募集

### <雇用条件>

- 職種：学童保育指導員
- 業務内容：小学校に通う児童を放課後や休みの日に保育するお仕事です。
- 勤務地：大磯放課後児童クラブ（大磯小学校内 大磯町東小磯3）
- 勤務時間：シフト制
  - ①午後2時から午後5時30分
  - ②午後2時から午後7時
  - ③午前8時30から午後7時  
(学校休業日)
- 就業時間及び週所定労働時間、日数は応相談
- 時給：1,011円から



## 大磯ケアセンターさざれ石 デイサービス 看護師の募集



- 資格：正又は准看護師
- 内容：介護および体調管理・健康管理等
- 勤務時間：
  - 午前8時30分から午後1時
- 時給：1,600～1,800円  
(ただし、3ヶ月間の研修期間有)
- 勤務：月曜から金曜の間のシフト制で週1日から3日
- 募集期間：随時受付けています。

## 社会福祉協議会・ 一般事務員募集

地域福祉業務における一般事務員を募集します。

在宅高齢者等への福祉サービス、配食サービスにおける配達業務。

### ■要資格：

- 普通自動車免許(AT限定可)
- パソコン操作  
(エクセル・ワード) 出来る方

### ■勤務時間：

午前9時30から午後5時30分  
土日祝日休み 週3日から

- 時給：1,011円から  
試用期間あり (3ヶ月)



毎度、「しゃきようおおいそ」をご覧いただきありがとうございます。  
大磯社協の社会福祉大会は記念すべき第30回目を迎えた。多くの方々にお越しいただきました。  
本年も皆様に元気をお届けできるような紙面づくりをしていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

\* 編集後記 \*

## 地域センターまんてん協力員募集

- 曜日 時：週1日から4日 (月・水・木・金)
- 対象：料理の好きな方で40歳から60歳まで
- 時給：1,100円
- 協力内容：調理、配膳等



お問い合わせ

大磯町社会福祉協議会

電話 0463(61)9390